

2 JR/京成幕張地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	重要地域拠点	
面積（促進地区）	88.1ha	
旅客施設（3000 人/日 以上）乗降客数	JR 幕張駅	32,176 人（平成 30 年度）
	京成幕張駅	8,373 人（平成 30 年度）
バス便数	JR 幕張駅	126（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
	京成幕張駅	34（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
生活関連施設数	8 施設	
生活関連経路延長	約 4,540m	
500m 圏人口	8,105 人	※JR 幕張駅を中心に 500m 圏の範囲で算出 （2015 年国勢調査 4 次(500m)メッシュ）
500m 圏高齢者数	1,975 人	
500m 圏高齢化率	24%	
従前の基本構想から の主な変更点	隣接する JR 海浜幕張地区、JR 新検見川地区と重複しないよう に地区境界を精査	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

JR/京成幕張地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率は平均的な地区です。駅から500m程度の範囲内に、主に地域住民の利用が想定される公共施設や集会施設が立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅で、都市機能誘導区域が設定されている駅北側では東幕張土地区画整理事業が事業中であり、駅前広場の新設が予定されています。

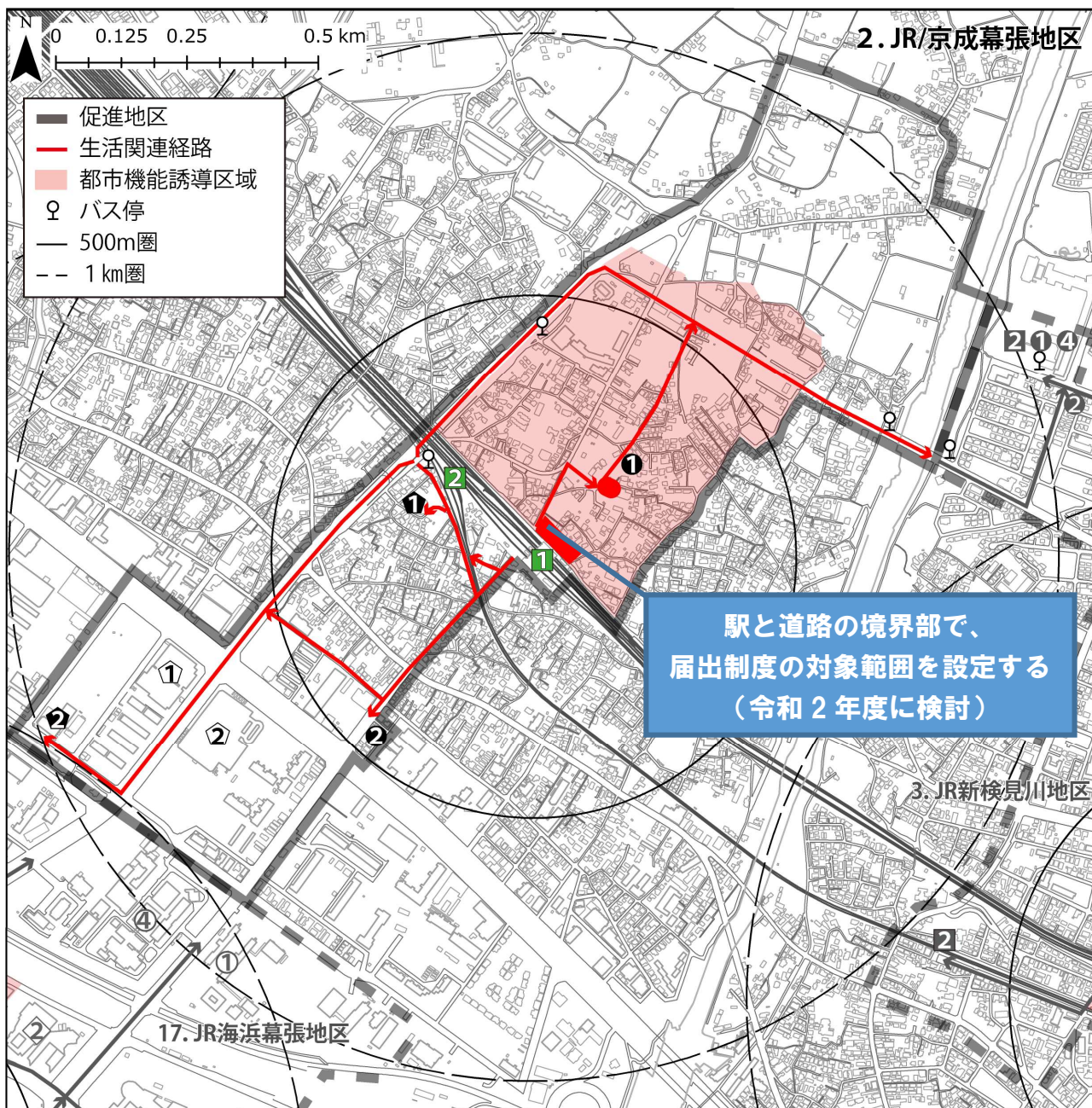
JR 幕張駅は、乗降客数が平均的な駅です。北口では土地区画整理事業の一環として暫定バスロータリーが整備され、バス便数は少ないですが、海浜幕張駅・幕張メッセ方面へのアクセスが充実しています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、線路の南北間や鉄道駅間のわかりやすい誘導案内や駅北口側の駅前広場整備による利用環境・安全性の向上が課題となっています。コミュニティセンター前の歩道については狭いうえに電柱があり車いすでの通行が難しい、幕張駅前の地下道については暗いため利用しにくいとの利用者の声があります。

また、JR 新検見川駅との駅徒歩圏が重なっており、花見川区役所周辺などへの連続的な移動への配慮が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体的なバリアフリー化を図ります。



種別	記号	施設名称
旅客施設	①	JR 幕張駅
	②	京成幕張駅
公共施設	①	幕張北口郵便局
	②	幕張郵便局
集会施設	①	幕張公民館
	②	幕張コミュニティセンター
大規模 店舗	①	Makuhari-BOX CHIBA NISSAN
	②	イトーヨーカドー幕張店



JR 幕張駅



京成幕張駅